

| 科目名 | 情報系資格対策講座 2 | | | | | | 年度 | 2025 | |
|--|--|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------|----|------|----|
| 英語科目名 | Information system Certification Exams 2 | | | | | | 学期 | 後期 | |
| 学科・学年 | 情報処理科 1年次 | 必/選 | 必 | 時間数 | 60 | 単位数 | 4 | 種別※ | 講義 |
| 担当教員 | 菊池、澁川、木下 | | 教員の実務経験 | 有 | 実務経験の職種 | SE (菊池)、PG (澁川、木下) | | | |
| 【科目の目的】 情報活用検定2級や情報処理技術者試験に合格することです。学生はこの検定を通じて、より高度な情報活用スキルや知識を身につけることが期待されています。 | | | | | | | | | |
| 【科目の概要】 試験を通じて、必要な知識や技術を身につけ、資格取得に向けた準備を進めることが期待されています。 | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 この授業では、情報処理技術者試験に合格することを目指します。合格するためには、経営を取り巻く外部環境の動向や事例を正確に理解することが求められます。合格することで、企業において即戦力となる中核的人材の素質を証明できるようになります。システム開発においては、設計から運用・保守に至るまで上位者の方針を理解し、自ら技術的問題を解決できるワンランク上のITエンジニアを目指します。また、「情報系資格対策講座1」で目標にした資格に合格した場合は、さらに上位の資格取得を目指すことが期待されます。 | | | | | | | | | |
| 【授業の注意点】 この授業では、教科書を必ず持参することが求められます。資格試験に合格するためには、講義時間内の学習だけでは不十分であり、自主的に自宅学習を進めることが重要です。授業中の私語や受講態度には厳しく対応し、理由のない遅刻や欠席は認められません。講義に出席するだけでなく、社会人としてのマナーを守ること求められます。また、授業の75%以上に出席しない場合、成績評価は行われません。 | | | | | | | | | |
| 評価基準＝ルーブリック | | | | | | | | | |
| ルーブリック評価 | レベル5 優れている | レベル4 よい | レベル3 ふつう | レベル2 あと少し | レベル1 要努力 | | | | |
| 到達目標 A | 会社関連・マネジメント関連に関する基礎知識を説明できる | 会社関連・マネジメント関連に関する基礎知識を理解することができる | 会社関連・マネジメント関連に関する基礎知識を概ね理解できる | 会社関連・マネジメント関連に関する基礎知識をあまり理解できない | 会社関連・マネジメント関連に関する基礎知識を全く理解できない | | | | |
| 到達目標 B | PCとネットワーク利用に関する基礎知識を説明できる | PCとネットワーク利用に関する基礎知識を理解することができる | PCとネットワーク利用に関する基礎知識を概ね理解できる | PCとネットワーク利用に関する基礎知識をあまり理解できない | PCとネットワーク利用に関する基礎知識を全く理解できない | | | | |
| 到達目標 C | 情報モラルと情報セキュリティに関する基礎知識を説明できる | 情報モラルと情報セキュリティに関する基礎知識を理解することができる | 情報モラルと情報セキュリティに関する基礎知識を概ね理解することができる | 情報モラルと情報セキュリティに関する基礎知識をあまり理解できない | 情報モラルと情報セキュリティに関する基礎知識を全く理解できない | | | | |
| 到達目標 D | アプリケーションソフトの利用に関する知識を説明できる | アプリケーションソフトの利用に関する知識を理解することができる | アプリケーションソフトの利用に関する知識を概ね理解することができる | アプリケーションソフトの利用に関する知識をあまり理解することができない | アプリケーションソフトの利用に関する知識を全く理解することができない | | | | |
| 到達目標 E | 情報活用検定2級の試験に合格できる | 情報活用検定2級の試験の点数が60%以上 | 情報活用検定2級の試験の点数が50%以上 | 情報活用検定2級の試験の点数が40%以上 | 情報活用検定2級の試験の点数が30%未満 | | | | |
| 【教科書】 情報活用試験2級 公式テキスト | | | | | | | | | |
| 【参考資料】 | | | | | | | | | |
| 【成績の評価方法・評価基準】 学習内容の理解度向上と知識の定着を目的とした課題によって評価します。積極的な授業参加態度や課題の提出状況に基づいて評価します。 | | | | | | | | | |
| ※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。 | | | | | | | | | |

| 科目名 | | 情報系資格対策講座 2 | | | 年度 | 2025 |
|------|--------------------|--|---------------------------|------------------------------------|------|------|
| 英語表記 | | Information system Certification Exams 2 | | | 学期 | 後期 |
| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | 授業内容 | 到達目標＝修得するスキル | 評価方法 | 自己評価 |
| 1 | 経営戦略とシステム戦略 | 経営戦略とシステム戦略についての基礎知識 | 1 企業活動と経営戦略 | 企業活動と経営戦略に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 情報システム戦略 | 情報システム戦略に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 2 | プロジェクトマネジメント | プロジェクトマネジメントに関する基礎知識 | 1 プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント | プロジェクトマネジメントとサービスマネジメントに関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 システム開発マネジメント | システム開発マネジメントに関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 3 | 情報と情報の利用 | 情報表現と情報の利用に関する基礎知識 | 1 問題解決処理手順 | 問題解決処理手順に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 情報と情報の利用 | 情報と情報の利用に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 4 | コンピュータの種類とOS | コンピュータの種類とOSに関する基礎知識 | 1 コンピュータの種類、動作原理 | コンピュータの種類、動作原理に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 オペレーティングシステム | オペレーティングシステムに関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 5 | インタフェース | パソコン関連機器とインタフェースについて基礎知識 | 1 パソコン関連機器 | パソコン関連機器に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 UIと記憶装置 | UIと記憶装置に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 6 | ネットワークの基礎 | インターネットの基礎知識 | 1 IPアドレスの理解 | IPアドレスの理解に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 インターネット技術 | インターネット技術に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 7 | ネットワークの利用 | ネットワークの利用に関する基礎知識 | 1 プロトコル | プロトコルに関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 LANの基礎 | LANの基礎に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 8 | 社会におけるコンピュータの利用 | 社会におけるコンピュータの利用に関する基礎知識 | 1 情報通信技術の進展 | パソコンの基本操作に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 社会における情報化 | 社会における情報化に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 9 | 情報社会の問題 | 情報社会の問題に関する基礎知識 | 1 情報ネットワーク社会の問題点 | 情報ネットワーク社会の問題点に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 知的財産権 | 知的財産権に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 10 | 情報モラルとネットワークセキュリティ | 情報モラルとネットワークセキュリティに関する基礎知識 | 1 サイバー攻撃 | サイバー攻撃に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 暗号化技術 | 暗号化技術に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 11 | コンピュータセキュリティ | コンピュータセキュリティに関する基礎知識 | 1 情報モラル | 情報モラルに関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 情報セキュリティ | 情報セキュリティに関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 12 | アプリケーションソフトの基礎知識 | アプリケーションソフトの基礎知識 | 1 プレゼンテーションソフト | プレゼンテーションソフトに関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 データベースソフト | データベースソフトに関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 13 | 表計算ソフト | 表計算ソフトの基本的使用方法 | 1 表計算ソフトの仕組み1 | 表計算ソフトの基本について修得する | 1 | |
| | | | 2 表計算ソフトの仕組み2 | 関数に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 14 | 表計算ソフトの利用 | 表計算ソフトの利活用 | 1 表の作成 | 表の作成に関する知識を修得する | 1 | |
| | | | 2 グラフの作成 | グラフの作成に関する知識を修得する | | |
| | | | 3 過去問題の理解 | 上記分野の過去問題を理解 | | |
| 15 | 受験対策 | 過去問題を時間計測して実施 | 1 前回の過去問の実施 | 時間を計測して実施する | 1 | |
| | | | 2 解説 | 過去問題の理解 | | |

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等